



(1) 理念5原則

①平和を希求する精神 ②新たな知の創造 ③豊かな人間性を培う教育 ④地域社会・国際社会との共存 ⑤絶えざる自己変革——の5つ。1995年に制定された。

(2) 平和学長会議

世界7カ国・地域10大学の学長らが24年8月6日、「大学のプログラムや教育を通じて国際交流を促し、人と人とのつながりを育む」とした平和学長宣言を採択し、対話を続ける強い意志を確認した。広島大学以外の参加大学は以下の通り。【米国】アイダホ大学、コロンビア大学【台湾】国立成功大学、国立中央大学【イタリア】パヴィア大学、ペルージャ外国人大学【インドネシア】ハサヌディン大学【インド】インド工科大学ボンバイ校【スウェーデン】世界海事大学

(3) 5つのイニシアティブ

第4期中期目標期間（22～27年度）における広島大学のあるべき姿の実現に向け、重点的に取り組む事項を「President 5 Initiatives for Peace Sciences—新しい平和科学（安全・安心を実現する「創る平和」）—」として策定した。①イノベーションと経済安全保障に貢献するための半導体エコシステム形成②ワクチン、医薬品開発、再生医療、細胞治療を通じた地球規模の健康安全保障への貢献③平和のための総合的な放射線災害管理④海洋・海事のガバナンスと持続可能性のためのアジア拠点形成⑤途上国の栄養改善に資する畜産業改革による食料安全保障——の5項目からなる。

(4) Town & Gown構想

大学と自治体（地域）が一体となって、組織間で柔軟に人材や情報などを共有しながら地域課題の解決に取り組むことで、ともに発展を続ける仕組み。東広島キャンパスのある東広島市とは21年度から協働を開始した。ローカル5GやEVカーなどの新しい技術の実証実験をキャンパス内で実施中。23年7月には新たに呉市とスタートし、同年10月には全国展開を目指す全国Town & Gown構想推進協議会を設立した。

(5) 持続可能性に寄与する

キラルノット超物質国際研究所

例えば右手と左手のように対称な形でありながら、互いに重なり合わない性質（キラリティー／対掌性）を持つ分子をキラル分子と呼ぶ。地球上の生命を構成するアミノ酸のほとんどは「左手型」のキラル分子だが、偏りが生まれた理由は分かっていない。この研究所では数学の結び目理論とキラリティーの知見を組み合わせ、自然界には存在しない粒子状物質（キラルノット物質）を開発している。ほかに、エネルギーゼロの情報伝達素子の開発やアルツハイマー病の治療薬の開発などにも挑戦している。

TOPICS

文部科学省「高度医療人材養成拠点形成事業」に採択（24年8月）～中国・四国地方で唯一、タイプAに選定～



100年後にも世界で光り輝く大学へ 漕ぎ出せ 混沌の海に 走れ 創造の彼方へ



東京ドーム53個分の広さがある東広島キャンパス

「自然界にはない物質を生み出すことで、例えばエネルギーに寄り添うするキラルノット超物質国際研究所」が文部科学省の世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）に新規採択されました。全18拠点のうち、中国・四国地方から選ばれているのは広島大学のみです。

「自然界にはない物質を生み出すことで、例えばエネルギーに寄り添うするキラルノット超物質国際研究所」が文部科学省の世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）に新規採択されました。全18拠点のうち、中国・四国地方から選ばれているのは広島大学のみです。

「自然界にはない物質を生み出すことで、例えばエネルギーに寄り添うするキラルノット超物質国際研究所」が文部科学省の世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）に新規採択されました。全18拠点のうち、中国・四国地方から選ばれているのは広島大学のみです。

「自然界にはない物質を生み出すことで、例えばエネルギーに寄り添うするキラルノット超物質国際研究所」が文部科学省の世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）に新規採択されました。全18拠点のうち、中国・四国地方から選ばれているのは広島大学のみです。

「自然界にはない物質を生み出すことで、例えばエネルギーに寄り添うするキラルノット超物質国際研究所」が文部科学省の世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）に新規採択されました。全18拠点のうち、中国・四国地方から選ばれているのは広島大学のみです。

「自然界にはない物質を生み出すことで、例えばエネルギーに寄り添うするキラルノット超物質国際研究所」が文部科学省の世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）に新規採択されました。全18拠点のうち、中国・四国地方から選ばれているのは広島大学のみです。

「自然界にはない物質を生み出すことで、例えばエネルギーに寄り添うするキラルノット超物質国際研究所」が文部科学省の世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）に新規採択されました。全18拠点のうち、中国・四国地方から選ばれているのは広島大学のみです。

「自然界にはない物質を生み出すことで、例えばエネルギーに寄り添うするキラルノット超物質国際研究所」が文部科学省の世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）に新規採択されました。全18拠点のうち、中国・四国地方から選ばれているのは広島大学のみです。

「海外にもっと出てほしい」と強く願っています。海外協定大学で1〜2週間、講義やワークショップに参加したり、現地学生と交流したりするSTARTプログラムや、海外の学生と一緒にオンラインで課題に取り組むe-STARTプログラムなどを積極的に活用してほしい」と越智学長は呼びかけます。

46%に達します。「海外にもっと出てほしい」と強く願っています。海外協定大学で1〜2週間、講義やワークショップに参加したり、現地学生と交流したりするSTARTプログラムや、海外の学生と一緒にオンラインで課題に取り組むe-STARTプログラムなどを積極的に活用してほしい」と越智学長は呼びかけます。

「海外にもっと出てほしい」と強く願っています。海外協定大学で1〜2週間、講義やワークショップに参加したり、現地学生と交流したりするSTARTプログラムや、海外の学生と一緒にオンラインで課題に取り組むe-STARTプログラムなどを積極的に活用してほしい」と越智学長は呼びかけます。

「海外にもっと出てほしい」と強く願っています。海外協定大学で1〜2週間、講義やワークショップに参加したり、現地学生と交流したりするSTARTプログラムや、海外の学生と一緒にオンラインで課題に取り組むe-STARTプログラムなどを積極的に活用してほしい」と越智学長は呼びかけます。

「海外にもっと出てほしい」と強く願っています。海外協定大学で1〜2週間、講義やワークショップに参加したり、現地学生と交流したりするSTARTプログラムや、海外の学生と一緒にオンラインで課題に取り組むe-STARTプログラムなどを積極的に活用してほしい」と越智学長は呼びかけます。



おちみつお 越智光夫学長 1977年広島大学医学部卒業。84年医学博士（広島大学）。専門は膝関節外科。島根医科大学整形外科教授、同大学病院院長、同大学理事・副学長などを経て2015年より現職。19-21年文部科学省科学技術・学術審議会総合政策特別委員会委員、17-22年日本学術会議会員、11-17年および22年から日本学術会議連携会員。2015年紫綬褒章を受章。

〒739-8511 広島県東広島市鏡山1-3-2 広報室 TEL 082-424-3701 https://www.hiroshima-u.ac.jp/

「海外にもっと出てほしい」と強く願っています。海外協定大学で1〜2週間、講義やワークショップに参加したり、現地学生と交流したりするSTARTプログラムや、海外の学生と一緒にオンラインで課題に取り組むe-STARTプログラムなどを積極的に活用してほしい」と越智学長は呼びかけます。

「海外にもっと出てほしい」と強く願っています。海外協定大学で1〜2週間、講義やワークショップに参加したり、現地学生と交流したりするSTARTプログラムや、海外の学生と一緒にオンラインで課題に取り組むe-STARTプログラムなどを積極的に活用してほしい」と越智学長は呼びかけます。

「海外にもっと出てほしい」と強く願っています。海外協定大学で1〜2週間、講義やワークショップに参加したり、現地学生と交流したりするSTARTプログラムや、海外の学生と一緒にオンラインで課題に取り組むe-STARTプログラムなどを積極的に活用してほしい」と越智学長は呼びかけます。

広島大学は2024年、新制大学として75年、9つある前身校のうち最も古い白鳥学校（後の広島師範学校）の創立から数えると150年という2つの節目を迎えました。「75+75周年記念事業」と銘打ち、さまざまな形で大学の魅力を再発見してもらう取り組みを進めています。

世界で最初の被爆地に開学した大学として「平和を希求する精神」を理念の第一に掲げています。24年8月6日の広島原爆の日には、本学を含む世界10大学の学長らが出席し、初の「平和学長会議」を開催するなど、安全・安心を実現する“創る平和”への取り組みを加速しています。「100年後にも世界で光り輝く大学」を目指し、平和を見え世界と渡り合えるトップレベルの教育・研究を進めていきます。

広島大学

「平和を希求する精神」を堅持しながら「平和を創る」大学へと取り組みを加速し オンラインワンの研究で世界に伍する

「本学は理念5原則を掲げ、一番目に『平和を希求する精神』を挙げています。これは何よりも大事な項目だということです。私自身、『平和を希求し、チャレンジする国際的教養人』の育成に努めたいと言っています。本学の評価が高いSDGsの取り組みについても、すべて平和がなければ成り立たない。学問が自由でできるのは平和があってこそだろうと思っています」と越智光夫学長は語ります。

「本学は理念5原則を掲げ、一番目に『平和を希求する精神』を挙げています。これは何よりも大事な項目だということです。私自身、『平和を希求し、チャレンジする国際的教養人』の育成に努めたいと言っています。本学の評価が高いSDGsの取り組みについても、すべて平和がなければ成り立たない。学問が自由でできるのは平和があってこそだろうと思っています」と越智光夫学長は語ります。

「本学は理念5原則を掲げ、一番目に『平和を希求する精神』を挙げています。これは何よりも大事な項目だということです。私自身、『平和を希求し、チャレンジする国際的教養人』の育成に努めたいと言っています。本学の評価が高いSDGsの取り組みについても、すべて平和がなければ成り立たない。学問が自由でできるのは平和があってこそだろうと思っています」と越智光夫学長は語ります。

「本学は理念5原則を掲げ、一番目に『平和を希求する精神』を挙げています。これは何よりも大事な項目だということです。私自身、『平和を希求し、チャレンジする国際的教養人』の育成に努めたいと言っています。本学の評価が高いSDGsの取り組みについても、すべて平和がなければ成り立たない。学問が自由でできるのは平和があってこそだろうと思っています」と越智光夫学長は語ります。

「本学は理念5原則を掲げ、一番目に『平和を希求する精神』を挙げています。これは何よりも大事な項目だということです。私自身、『平和を希求し、チャレンジする国際的教養人』の育成に努めたいと言っています。本学の評価が高いSDGsの取り組みについても、すべて平和がなければ成り立たない。学問が自由でできるのは平和があってこそだろうと思っています」と越智光夫学長は語ります。

「本学は理念5原則を掲げ、一番目に『平和を希求する精神』を挙げています。これは何よりも大事な項目だということです。私自身、『平和を希求し、チャレンジする国際的教養人』の育成に努めたいと言っています。本学の評価が高いSDGsの取り組みについても、すべて平和がなければ成り立たない。学問が自由でできるのは平和があってこそだろうと思っています」と越智光夫学長は語ります。



平和学長会議を初めて開催（2024年8月6日）